

●募集定員・入試方法

■ 募集定員／出願資格

募集定員	30名（男女）	出願資格	2026年3月に中学校を卒業する見込みの者及び中学校卒業者
------	---------	------	-------------------------------

■入試方法／入試日程

入試方法	1.推薦入試(学校推薦入試、自己推薦入試)※専願のみ 合格した場合は本校への入学を辞退することができません。 試験内容 学力参考試験：筆記試験（国語、英語2科目各50分）、面接（保護者同伴）を事前に受験し、内定を得た上で、推薦入試：課題確認、面接（個人・保護者同伴）を受験すること。 2.一般入試 専願または併願 ※専願で合格した場合は本校への入学を辞退することができません。 試験内容 筆記試験（国語、英語、数学3科目各50分）、面接（保護者同伴）を受験すること。
------	--

入試日程	1_1 推薦入試（学力参考試験）※学力参考試験は、下記①または②の日程のどちらか1日を受験し、内定を受けたら1_2推薦入試を受けることができます。 ①2025年11月 1日（土） ②2025年12月13日（土）	時間及び内容：集合9:00 諸注意9:00～9:15 筆記試験（国語）9:20～10:10 筆記試験（英語）10:20～11:10 面接（順次）11:30～ ※成績が基準に達し内定した場合は推薦入試に向けた課題を出題します。
1_2 推薦入試 2026年1月31日（土）	時間及び内容：課題確認／面接（順次）9:00～	
2_1 一般入試（前期） 2026年1月31日（土）	時間及び内容：集合9:00 諸注意9:00～9:15 筆記試験（国語）9:20～10:10 筆記試験（英語）10:20～11:10 筆記試験（数学）11:20～12:10 面接（順次）12:30～	
2_2 一般入試（後期） 2026年2月28日（土）		
2_3 一般入試（追試験） 2026年3月24日（火）	※追試験は特別の事情がある場合に限り行いますので、本校を志望することが決定している場合は、必ず一般入試（後期）までに受験してください。	

■出願締切日及び必要提出書類

1.推薦入試（学校推薦入試、自己推薦入試）	学力参考試験①2025年11月 1日を受験する場合は、2025年10月27日(月)●までに、①学力参考試験申込書、②個人報告書（出身中学校で作成）、③証明用写真2枚（3cm×4cm、1枚は①に貼付）④学校推薦入試推薦書（出身中学校で作成）または自己推薦入試推薦書を、りら創造芸術高等学校に提出すること。（郵送可） 学力参考試験②2025年12月13日を受験する場合は、2025年12月 8日(月)●までに、上記①、②、③、④をりら創造芸術高等学校に提出すること。（郵送可） 学力参考試験で内定を得て推薦入試 2026年1月31日（土）を受験する際は、別途出願要領を直接連絡しますので、検定料20,000円を指定口座（紀陽銀行貴志川支店普通619326学校法人りら創造芸術学園理事長山上範子）に振り込み、納付書控えまたはそのコピーを必要書類と共に提出してください。
2.一般入試	一般入試（前期）2026年1月31日(土)を受験する場合は、2026年1月26日（月）●までに、①入学願書、②個人報告書（出身中学校で作成）、③証明用写真2枚（3cm×4cm、1枚は①に貼付）、④検定料20,000円を指定口座（紀陽銀行貴志川支店普通619326学校法人りら創造芸術学園理事長山上範子）に振り込み、納付書控えまたはそのコピーをりら創造芸術高等学校に提出すること。（郵送可） 一般入試（後期）2026年2月28日(土)を受験する場合は、2026年2月25日(水)●までに、上記①、②、③、④をりら創造芸術高等学校に提出すること。（郵送可） 一般入試（追試験） 実施する場合は、インターネット上などで告知しますので、告知内容に従って手続きをとった上で受験してください。

■注意事項及び入学手続き

1.注意事項	必要提出書類の内、②個人報告書及び④学校推薦入試推薦書は学校において厳封されたものでなければ無効とします。受験時の昼食は各自でご持参ください。（近隣には食堂などがありませんのでご注意ください。）
2.入学手続き	合格が決定したら、所定の期日までに入学金200,000円を指定の口座に振り込んでください。 その他手続き及び必要提出書類については、逐次お知らせします。

学費・必要経費

1ヶ月あたりの ①授業料＋②施設設備費＋③その他の必要経費は ※ケース1の場合 約33,700円	高等学校等就学支援金が396,000円支給された場合です。 世帯の年収が5,900,000円を超えた場合は約56,800円となります。 昼食費は1ヶ月あたり約10,840円、積立金は1ヶ月あたり5,000円で、寄宿舎に入寮された場合は1ヶ月あたり約55,840円が別に必要です。
--	---

① 授業料	基本550,000円(1年間)→世帯の収入により→154,000円、431,200円のいずれかとなります。
●授業料から免除される金額(高等学校等就学支援金)	※合計年収はあくまで目安ですので、世帯の人数などで変わる場合があります。詳しくは文部科学省HPをご覧ください
ケース1	高等学校等就学支援金 396,000円 → 納入必要額 154,000円 （保護者世帯の合計年収 5,900,000円未満の場合）
ケース2	高等学校等就学支援金 118,800円 → 納入必要額 431,200円 （保護者世帯の合計年収 5,900,000円～9,100,000円未満の場合）
ケース3	高校生等臨時支援金 118,800円 → 納入必要額 431,200円 （保護者世帯の合計年収 9,100,000円以上の場合）
高等学校等 就学支援金とは	国公立を問わず、子女が高等学校等に通い所得等要件を満たす世帯で、年収約910万円未満の世帯の生徒に対して、授業料に充てるため国から支給される支援金です。支援金額は保護者世帯全員の収入合計額等により396,000円または118,800円が支給されます。910万円を超える世帯に関しては高校生等臨時支援金が適用されます。※あくまでも令和7年度の情報です。 文部科学省HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/1342674.htm

② 施設設備費
●年間 30,000円 教育用施設設備を保全・充実させるための費用
③ その他の必要経費(教材費、冷暖房費、実験実習費、バス協力費)
①教材費、冷暖房費、実験実習費／年間 120,000円 各教科で使用する教材費、教室等施設に必要な冷暖房費の一部協力費、外部舞台発表、芸術鑑賞などの費用
②バス協力費／年間100,000円※寮生は年間70,000円 スクールバスを運行するのに必要な経費の一部協力費
④ 昼食費／旅行積立金

①昼食費／年間130,000円 毎日、生徒に提供する“りら”の昼食は、多くの食材を地元で採れた野菜などを使って地域の人たちの協力で作っています。放課後にはおやつもです。
②旅行積立金／年間 60,000円 “りら”では、一般的な修学旅行は実施しませんが、国際理解教育の一環として海外研修を実施しています。時期は決まっていませんが生徒が在学する3年間の間に一度は参加が可能となるよう計画をたて、海外での舞台イベントなどの文化的な国際交流や教育機関との相互学習に実効性のある機会を捉えて旅行を実施します。1～3学年全ての生徒が対象となり、研修が決まれば生徒から参加者を募集しますが、そのための費用に積立金を充当します。（在学中に複数回、研修旅行の機会があった場合でも、参加することは可能です。また、在学中一度も参加しなかった場合は積立金の全額を卒業時に返還します。）

⑤ 預かり金
●20,000円／生徒が急に病院で受診した場合など個人で負担する金額を支払うために、あらかじめ学校でお預かりしておくものです。残額に不足が生じた場合は随時、追加金をお預かりします。また、卒業時には残金をお返しします。なお、日本スポーツ振興センター保険料金／年間 約1,720円(月額 約143円)もここから支払います。※経費の性格上、年度当初に一括で納入いただき、不足した際は追加していただきます。
⑥ 寮費
●年間670,000円／寄宿舎を利用する生徒の必要経費です。費用の内訳は、朝夕食事費、寮母(舎監)人件費、光熱水費、衛生消耗品費などです。 ※金土日も宿泊する場合は追加で1日2,000円必要になります。

7 入学金 200,000円 (入学時のみ)

入学時のみに必要なその他経費

規定服(制服)／約51,000円

②学校指定のトレーニングウェア上下他／約16,000円

伝統文化関係授業用浴衣／約9,000円

④ジャズダンス用スニーカー／約9,000円

⑤タップダンス用シューズ／約9,000円

④⑤は、ご自身で所有のものが有れば、使用の可否について学校にお問い合わせください。

使用可であれば新たに購入する必要はありません。

合計

約 94,000円

各費用の納入時期	学費サポート
⑦入学金／合格発表通知受領後約2週間以内に振込 ①授業料 ②施設設備費 ③その他の必要経費 ④昼食費／旅行積立金 ⑤預かり金 ⑥寮費 の合計額を全額一括または2回に分割(3月下旬及び9月下旬)の指定日までに全額または2分の1の額を納入。※新入学生は高等学校等就学支援金の額が未決定ですので、一旦授業料の基本額(全額550,000円または半期分275,000円)及びその他の経費を納入していただき、次回の支払い時期に支援金分を差し引きします。	以下のような奨学金の制度がありますので、必要に応じてお問い合わせください。 ①和歌山県修学奨励金貸与制度(和歌山県教育委員会) 各都道府県で同じような条件での奨学制度が設けられていますので、それぞれの教育委員会にお問い合わせください。 ②日本政策金融公庫教育貸付金 ③奨学のための給付金(国の教育ローン) 高校生がいる低所得世帯が対象です。学校を通じて都道府県に申請します。入学後に案内を通知します。 ④その他奨学金 一般財団法人や社会福祉協議会(各都道府県)が実施する奨学金は各団体にお問い合わせください。

りら創造芸術学園（りら創造芸術高等学校）アドミッション・ポリシー

～本校に是非とも入学していただきたい生徒像（入学を期待するメッセージ）

- りら創造芸術学園（りら創造芸術高等学校）では、
- 自ら考え、行動し、表現する創造性豊かな人となることを目指す人。
 - 仲間と共に調和を図りながら、自主性、協調性を育てていきたいと思っている人。
 - 自分の可能性を信じて、常に前を向いて進んで行くことを望む人。
 - グローバルな視点に立ち、国際社会においても、平和で友好的な国際関係をつなぐことのできる人になることを目指す人。
 - 自然豊かな環境の中で、人だけでなく動植物とも共に生活することを望む人。の本校への入学を期待します。

～りら創造芸術学園の教育理念

平成 19 年（2007 年）に設立された本学園は、まだまだ歴史が浅い発展途上の学校ですが、教育目標に掲げた「社会に貢献できる人材の育成」の人材に必要な資質を人間力＝「生きる底力」と考え、その達成のために真摯に努力を重ねながら教育活動に取り組んでいます。

そして本学園では、この人間力＝「**生きる底力**」として

- 「決してあきらめず、**やり抜く力**」
- 「無限の可能性を信じ自らの**未来を創造していく力**」
- 「仲間との**調和を図る力**」
- 「**愛情をもって生きる力**」

の四つの力を提唱しています。

本学園での学びにおいて、このような力が育っていくことで、社会人となってからも、社会の中で生き活きと活動していくために必要な知識を積極的に学習していこうとする姿勢が確立し、市民としての責任を自覚しながら、社会に存在する問題を発見し解決しようとする意欲と能力が備わり、自らの理想を実現するために自身で考え行動できる人材となることを理想としています。

- それを実現するための教育方針として、生徒が、
- ① 創作活動の中で、自己目標を定め、常に不断の努力を傾注することで、思考力、集中力、忍耐力を高め「安定した心」を養う。
 - ② 創作活動での経験を重ねることにより、自己の能力伸長の可能性を自覚し、自らの進路を切り開く力を養う。
 - ③ 作品制作過程での協同やミーティングを深めることにより、集団の中での協調性や自己の役割を主体的に果たしてゆく力を養う。
 - ④ 豊かな自然環境に恵まれ、地域住民の方々とのふれあいのなかで教育活動を行うことにより、情緒豊かで愛情にあふれ、感謝の心をもった人格に育つ。
- ことを掲げ、その達成に努力しています。

学校推薦による出願資格および推薦書の記入要領

学校法人りら創造芸術学園

りら創造芸術高等学校

1 出願資格

提出年度卒業見込み者のうち、次の各事項を満たし、中学校長が推薦する者。

- （１）本校を志望する動機や理由が明確であること。
- （２）合格した場合、入学の意思が確実であること。
- （３）人物が誠実で、学習面、スポーツ活動、文化活動、その他の活動において意欲的に取り組み、継続して活動する強い意志があること。

2 推薦書の記入要領

（１）推薦理由

推薦理由を具体的に記入してください。

（２）学業

授業中の活動状況、勉学に対する姿勢や適性、得意な科目等について、できるだけ具体的事実をあげて記入してください。

（３）人物

出願者の人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。

（４）特記事項

ア 生徒会活動

生徒会長、副会長、議長、副議長、書記、会計、各種委員会の委員長などの活動歴があれば記入してください。

イ ボランティア活動

学校の教育活動として行ったものの他に、学外で自主的・継続的なボランティア活動があれば、それも記入してください。

ウ 部活動

継続的に行った部活動名と、部長、副部長、などの役職がある場合にはそれを記入し、団体競技の場合にはポジションやレギュラーの区別を記入してください

エ 取得資格

英検、珠算、書道、柔道、弓道、囲碁などの資格があれば記入してください。

オ 趣味・特技

現在の趣味または特技の内容を記入してください。

カ その他特記すべき事項

志願者について、上記以外の特長があれば記入してください。

※ 各事項毎に、記入すべき事項が特に無い場合には「特になし」としてください。

自己推薦による出願資格・推薦書の記入要領

学校法人りら創造芸術学園
りら創造芸術高等学校

1 特に留意すること

自己推薦は、自分自身をアピールして入学しようとする意思を強く示すためのものです。
りら創造芸術高等学校では、学業や人物、その他の活動等が特に優れている場合に入学資格として高く評価することは勿論ですが、それ以上に、入学してからの、大きく成長する可能性をより重視します。
したがって、自己推薦を行おうとする受験者は、これまでに活動や資格で優れた実績が無い場合でも、推薦理由に、これからの社会がどのようになっていって欲しくて自分があるためにどんな働きをしたいか。研究者、技術者、芸術家やタレント等として社会で活躍したい。海外において積極的に活動したい。など、自分自身の将来の夢や、希望をひるまず書いて欲しいのです。
そのためのヒントとして、別紙の「りら創造芸術学園（りら創造芸術高等学校）アドミッション・ポリシー」を必ず読んだ上で、自己推薦書を作成してください。推薦理由の記入欄が足らなければ便せん等書き足して提出してください。

2 出願資格

提出年度に中学校を卒業見込みの者または中学校を卒業した者で、次の各事項を満たし、自ら入学を推薦する者。
（１）本校を志望する動機や理由が明確であること。
（２）合格した場合、入学の意思が確実であること。
（３）人物が誠実で、学習面、スポーツ活動、文化活動、その他の活動において意欲的に取り組み、継続して活動する強い意志があること。

3 推薦書の記入要領

- （１）推薦理由
推薦理由を具体的に記入してください。また、自分自身の将来の夢や希望の実現についての想いを記入してください。
- （２）学業
得意な科目等について、できるだけ具体的事実をあげて記入してください。
- （３）人物
自分自身の人物や性格について、特性と思われる点についてできるだけ具体的な事実をあげて記入してください。
- （４）特記事項
- ア 生徒会活動
生徒会長、副会長、議長、副議長、書記、会計、各種委員会の委員長などの活動歴があれば記入してください。
- イ ボランティア活動
学校の教育活動として行ったものではなく、自主的・継続的なボランティア活動があれば記入してください。
- ウ 部活動
継続的に行った部活動名を記入し、部長、副部長、などの役職がある場合はそれを記入し、競技団体の場合にはポジションやレギュラーの区別を記入してください。
- エ 取得資格
英検、珠算、書道、柔道、弓道、囲碁などの資格があれば記入してください。
- オ 趣味・特技
現在の趣味または特技の内容を記入してください。
- カ その他特記すべき事項
上記以外の特長があれば記入してください。
- ※ 各事項毎に、記入すべき事項が特に無い場合には「特になし」としてください。

出願書類

■入学願書(学力参考試験申込書)

■個人報告書

■学校推薦入試推薦書 自己推薦入試推薦書

	入 学 願 書
	学力参考試験申込書

※ 該当する箇所に○を書き込んでください。

受理日	提出日 年 月 日	
	受験番号	
	生徒番号	

※ この枠内は本校で記入します。

学校法人　りら創造芸術学園
りら創造芸術高等学校　御中

希望受験枠を囲む

入　試　日※	入　試　の　方　法
令和　　年　　月　　日	自己推薦・学校推薦・一般専願・一般併願

※入試日は、一般入試を受ける場合のみ御記入ください。

真 写
4 cm × 3 cm
(上半身)
裏面に氏名を記入し
貼付してください

ふりがな			性 別	生 年 月 日	
氏 名			男・女	平成 年 月 日 生	年齢 () 歳
ふりがな					
現住所	〒 -				
連絡先	電話 () - 携帯電話 () -				
	その他の連絡先 (任意)				
学 歴	年 月	立	中学校	卒業見込み・卒業	
	年 月	立	学校	在学中・中退・卒業	
ふりがな			本人との続柄	生 年 月 日	
保護者 氏名	印			年 月 日 生	年齢 () 歳
ふりがな					
保護者 現住所	〒 -				
連絡先	電話 () - 携帯電話 () -				
	その他の連絡先 (任意)				
入学後の 通学方法希望	①自宅通学 ②宿泊施設利用 (週末帰宅) ③宿泊施設利用 (週末も利用)			現在の健康状態	

裏面も記載して下さい。

本校への志望動機を書いてください。	
本校で特に学びたいことを書いてください。	
本校を卒業してからの進路について書いてください。	
あなたの趣味・特技について書いてください。	
これまでに見た舞台・展覧会等で印象に残ったものがあれば、感想を書いてください。	

※以下の枠は、保護者の方ができるだけ詳しく記入してください。

[illegible]

個人報告書

ふりがな		性 別		〒	
氏 名				現住所	
生年月日		平成 年 月 日		年 月	
				中学校 学校	
				在学中・卒業 ・卒業見込	
(1) 各教科の学習の記録 (絶対・相対) 丸で囲む				(2) 総 合 所 見	
教 科		評 定		A (10段階)	
				B (5段階)	
必修教科	国 語				
	社 会				
	数 学				
	理 科				
	音 楽				
	美 術				
	保健体育				
	技術家庭				
選択教科	英 語				参考事項
				(注)	
				①「評定A」欄の比率は各欄とも、10 (3%)、9 (4%)、8 (9%)、7 (15%)、6 (19%)、5 (19%)、4 (15%)、3 (9%)、2 (4%)、1 (3%) とする。	
				②他府県の中学校卒業生については、当該高等学校選抜要項等で定めている比率に基づいて記入する。その際、5段階の表示による場合は、「評定B」欄に記入する。ただし比率は、5 (6%)、4 (20%)、3 (48%)、2 (20%)、1 (6%)、とする。	
クラブ・ボランティア等での活動				学習態度	
出席日数 (3年次の現在までの出席日数を記入) ／				長所・特技・得意科目など	
本書の記載事項に誤りのないことを証明する。					
令和 年 月 日					
学校名		学校長名		印	
所在地 (〒 -)					担任印
(TEL) _____					

りら創造芸術高等学校 〒640-1205 和歌山県海草郡紀美野町真国宮56 TEL:073-497-9111

人 物	

「人物」については、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。

特 記 事 項	(生徒会活動)
	(ボランティア活動)
	(部活動)
	(取得資格)
	(趣味・特技)
	(その他特記すべき事項)

- ・「生徒会活動」については、生徒会での役職経験や活動歴および活動内容を記入してください。
- ・「ボランティア活動」については、学校の教育活動で行ったものの他に学外で自主的・継続的に行ったボランティア活動がある場合、その内容を記入してください。
- ・「部活動」については、継続的に行った部活動名を記入し、部長、副部長等の部内での役割や団体競技の場合のレギュラーポジション等を記入してください。
- ・「取得資格」については、英語検定、珠算、書道、柔道、弓道、将棋、囲碁などの資格を記入してください。
- ・「趣味・特技」については、現在の趣味または特技の内容を記入してください。
- ・「その他特記すべき事項」については、上記以外の特長を記入してください。
- ・特記すべき事項のない項目には「特になし」と記入してください。

◎※欄には記入しないでください。上質紙または白色のコピー用紙に、この様式2ページ分を裏表に印刷してご利用ください。また、ワードプロセッサで各事項を記入していただいても差し支えありません。

キ
リ
ト
リ
線

キ
リ
ト
リ
線

受験番号	※
------	---

自己推薦入試推薦書（りら創造芸術高等学校）

学校法人りら創造芸術学園
りら創造芸術高等学校
校 長 山 上 範 子 様

学校名

氏 名

印

私は下記の理由等により御校への自己推薦による入学を志願します。

記

(フリガナ) 志 願 者 氏 名	性別	生 年 月 日
()		平 成 年 月 日

推

薦

理

由

「推薦理由」については、具体的に記入してください。